

平成24年度 実施計画作成・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	生涯学習課	記入者名	橋元邦和	内線	806	
事務事業名	戦争遺跡等保存活用事業		事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり						
	施策	文化の振興						
	細施策	文化財の保存・活用						
根拠法令・条例、関連計画等	文化財保護法・出水市文化財保護条例							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目
戦争遺跡等保存活用事業（仮称）								

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

戦争遺跡の保存に取り組もうと考える目的には、戦後67年が経過し戦争体験者が年々少なくなっている事が挙げられる。本市に現存している戦争遺跡をより効果的に生きた平和学習の拠点として活用するには「もの」と「ひと」が共存する今の時期を逃してはならないと考える。

そこで、掩体壕の保存公園、戦争資料館のハード整備と共に平和学習プログラムの作成等のソフト整備を含め総合的に市内の戦争遺跡の保存活用に取り組む。

3 事務事業の概要

H25年度の事業計画	H26年度の事業計画	H27年度以降の事業計画
1 掩体壕整備事業 2 戦争体験者からの聞き取り調査 3 戦争資料館整備委員会の設置	1 平和学習プログラム等の作成 2 資料収集 3 戦争資料館設計委託	戦争資料館の建設

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市内外の平和学習者	戦争遺跡整備・平和学習教材作成
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
恒久的平和を願う市民の意識の更なる向上を目指す。	

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	27年度目標	最終目標	
								年度	目標値
活動指標	① 掩体壕公園、戦争資料館の整備	箇所			1		1	30	2
	② 戦争遺跡現地説明会の実施	回			1	1	1	30	1
成果指標	① 利用・来場者数	人				4,000	8,000	30	20,000
	② 戦争遺跡現地説明会の参加者数	人			50	60	60	30	80

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 事務事業の目的

緊急性	いつまでに実施しなければならないのですか	
	平成30年度まで	理由 戦後67年が経過し戦争体験者が年々少なくなっているため。「もの」と「ひと」が現存する現在、一年でも早く取り組むべき事業である。
妥当性	意図は妥当ですか（「4 事務事業の対象・手段・意図」欄の意図について）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 平和都市宣言を行った市としての具体的指針を明らかにして、市民の戦争遺跡保存意識と平和教育の更なる前進を推進していく点で妥当。
効率性	既存事業の拡大では対応できないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 該当する既存事業がない
	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 受益者負担なし
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	1 南九州市（知覧特攻平和会館） 2 南さつま市（万世特攻平和祈念館）	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	本市に残る戦争遺跡群は、平和学習の先進地である南九州市よりも多く残っており、本市の特色である。しかしながら、この特色が平和学習に生かされていない状況である。今後事業を推進することで、多くの平和学習利用者が本市を訪れると考える。この事業のタイムリミットは「もの」と「ひと」が現存する今しかないと考える。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	全体計画を充分精査し、ランニングコスト等を考慮の上、庁議を経て進めることとする。なお、実施する場合は、財政事情等を考慮し、補助事業等の財源確保に努める。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	掩体壕の整備については、平成25年度に用地を取得し、平成26年度に整備を行う。実施にあたっては、補助事業等の財源確保に努めることとする。なお、戦争資料館については、掩体壕の整備と切り離し、全体像が定まった段階で別途評価する。